

法大「暴処法」弾圧打ち破り、8人を奪還！

飲酒規制 認めたCSKを解体しよう！

文責 内海佑一(文学部被退学処分・法大「暴処法」弾圧、4・24弾圧、5・29弾圧被告)

みなさん！！

8ヶ月にも及ぶ不当勾留を打ち破って、我々8人はここ法大に帰ってきました！！ただいま！！

09年4・24法大解放総決起集会の大爆発に対する反動として、我々に「暴処法弾圧」をかけてきた法大当局と国家権力。8ヶ月にも及ぶ不当勾留や転向強要、違法極まりない「事情聴取」や不当処分等々を我々は絶対に許さない。我々は改めて、弾圧に手を染めた法大当局・増田総長と国家権力を打倒するために闘い抜く決意です。

大恐慌と対決し2010年、法大からストライキやろう！

●キャンパス全面禁酒絶対阻止！！

先日、市ヶ谷学生センター長・木原章名義で「パブリックスペースにおける飲酒ルールの策定について」なる文章が出されました。

内容は大まかに以下の通りです。

飲酒で大騒ぎする学生のせいで「大学の教育環境の維持が難しくなっている状況」である
だからキャンパスは原則24時間全面飲酒禁止とする
例外規定として21時までの「食堂スペース」(仮)での飲酒は「大人の飲酒」として認める予定
学生団体申請および学友会行事における例外規定も考慮中
市ヶ谷サークル支援機構を通じて意見集約を行う

ふざけるな！！こんな一方的な決定など認められるか！！

「例外規定」などと言っても結局「全面禁酒」については決定事項として押しつけていくということではないか。まず決定ありきであり、その上で「話ぐらいは聞きますよ」と。こんなふざけた話があるか！！

法大当局はここ10数年、一貫してこのような一方的なやり方で学生の自主・自治活動を奪ってきました。

学生連盟・学生自治会非公認化、04年学生会館解体、06年「ピラ・立て看板規制」、07年学友会廃止、etc...

いいかげんにしろ！！飲酒にまで手をつけてきた法大当局は、もはや学生の自由など一切認めないという立場に立ったということ他なりません。

3・14法大弾圧を許さない法大生の会
ブログ <http://hosei29.blog.shinobi.jp/>
メール hosei_five@yahoo.co.jp



昨年12月28日 東京拘置所前にて 奪還された仲間と共に

全学生・全サークルは飲酒規制絶対反対で闘おう！！
法大に自由を取り戻そう！！

●支配機構と化したCSK打倒を！！

一方でこうした法大当局の下僕となり、学生支配の一部と成り果てたCSK(市ヶ谷サークル支援機構)の責任も重大です。

CSKは07年度まであった学友会を解体してできた法大当局の御用機関です。それは奴隷の道を拒否して闘いに立ち上がった文化連盟とは完全に真逆のものです。

CSK執行部はそもそも08年設立時の資料にて「他大に比べれば法政はかなり自由な大学」などと臆面もなく語っており、主張は法大当局そのものです。4年間で112人が逮捕される大学の何が自由か！！(裏面に続く)

ストーキングプレイヤー=ヤクザ部隊を 法大から叩きだそう!!

現在法政大学ではかつての「ジャージ部隊」に代わって登場した通称「ヤクザ部隊」が跳梁跋扈しています。

この連中は学内で洞口朋子さん(経1)の尾行・監視・ビデオ盗撮のみを仕事とする極悪の弾圧職員です。こんな連中に学生の学費が使われている!!どうして許せるか!!

今回の飲酒規制が適用されたら、学生を排除するために動員されるのは間違いなくコイツらだ。

ヤクザ部隊を法大から叩きだそう！！



↑学内でマスクをしてオソロの法大ジャンパーを着ているのがヤクザ部隊です

09年には学祭実（CSK）が「大学の最終管理権は大学にある」などとうそぶき、学祭における19時以降の全面禁酒を認めるという暴挙に手を染めました。さらには自分が所属する社会科学研究会の企画を「学祭実の名をもって」潰すことまでやっています。本当に腐りきった奴らだ。

CSKは学生の代表ヅラして法大当局と「折衝」を行い（実際は当局に追従しているだけ）、学生の名をもって当局にお墨付きを与えていくという役割を担っているのです。これほど屈辱的な話があるのでしょうか。

CSKは今回の飲酒規制に対しても学祭と同様に認める方向です。当局と一体化して学生の自由を奪うCSKなど打倒・解体し、闘う文化連盟の旗のもとで団結しよう！！

●新自由主義ぶっ飛ばそう！！

こうした法政大学当局の攻撃は、新自由主義の流れと完全に一体のものです。

今や世界中で大恐慌・大失業が吹き荒れ、学生は4人に1人が就職できない情勢。年間100万円だかの学費をむしり取り、自由に飲酒することも規制し、学生の就職すら満足に用意できない大学。本当に終わっているとしか言いようがありません。

日本経団連は今月19日、今春闘の経営側指針となる「経営労働政策委員会報告」を発表しました。そこで言われていることは「ベースアップゼロ」にとどまらず、なんと定期昇給すらなくすべきなどというものです。

要するにずっと初任給のままにするべきだ、と。50歳になろうが60歳になろうが初任給のまま。そんなんで生きていけるか！！

そしてJALでは4万7千人のうち1万5700人を解雇する攻撃が行われています。3人に1人が首を切られるのです。これでまともな飛行機が飛ばせるはずがありません。

何よりもハッキリさせたいのは、こうした攻撃の先駆けこそが1987年の国鉄分割・民営化だということです。

分割・民営化は40万人中20万人の大首切り攻撃であり、労働組合解体攻撃です。

さらには労働者派遣法改悪への突破口となり、今や労働者の3人に1人、青年の2人に1人が非正規雇用です。これが新自由主義と呼ばれているものです。労働者が満足に生きることできない社会こそが新自由主義であり、まさに資本主義の破産形態そのものではありませんか。

しかしこの新自由主義攻撃と23年間闘い、勝利的地平を



切り開いている組合こそが動労千葉（国鉄千葉動力車労働組合）です。

動労千葉は87年の分割・民営化に対して2波のストライキで闘い抜き、また最終的に不当にも整理解雇された1047名の解雇撤回闘争の最先頭で闘い抜いてきました。

そして今、「第二の分割・民営化」（動労千葉・田中委員長談）と言われるJR全面外注化攻撃が吹き荒れています。これはJRを100以上の子会社に分割し、徹底的に合理化するというものです。こんなことをしたら完全に安全は崩壊します。107名の命が奪われた尼崎事故が再び繰り返されようとしている。絶対に許せません。

こうした新自由主義と対決し、労働者・学生の団結で人間が人間らしく生きていける社会を作っていこうではありませんか。

●2・13労働者集会へ！！

諸悪の根元は資本主義体制であり、民主党政権です。こいつらが一方で「子ども手当」などと言いながら、他方で御用労働組合幹部と結託して労働者に大失業をガンガン強制しているのです。そもそも金権腐敗にまみれた小沢・鳩山などすぐに打倒すべきです。

民主党政権の支持率も今や急落し、闘えば勝てる時代が到来しています。

動労千葉の呼びかける「2・13全国労働者総決起集会」に集まり、民主党・連合政権を打倒しよう！！

法大から世界を変えよう！！

みなさん。今年もよろしくお願いします。

新自由主義＝大恐慌・大失業と対決し、民主党・連合政権を打倒しよう！！

国鉄1047名解雇撤回！

検修・構内業務外注化絶対反対！

2・13全国労働者総決起集会

- 2月13日（土）午後1時～ 代々木公園B地区にて
集会終了後、JR東日本本社（新宿）へ抗議デモ
- 主催／動労千葉、動労水戸など動労総連合5団体

ライフサイクル第三次配転、検修外注化阻止！1・22動労千葉総決起集会

- 1月22日（金）18時～ ●千葉市民会館・小ホールにて

